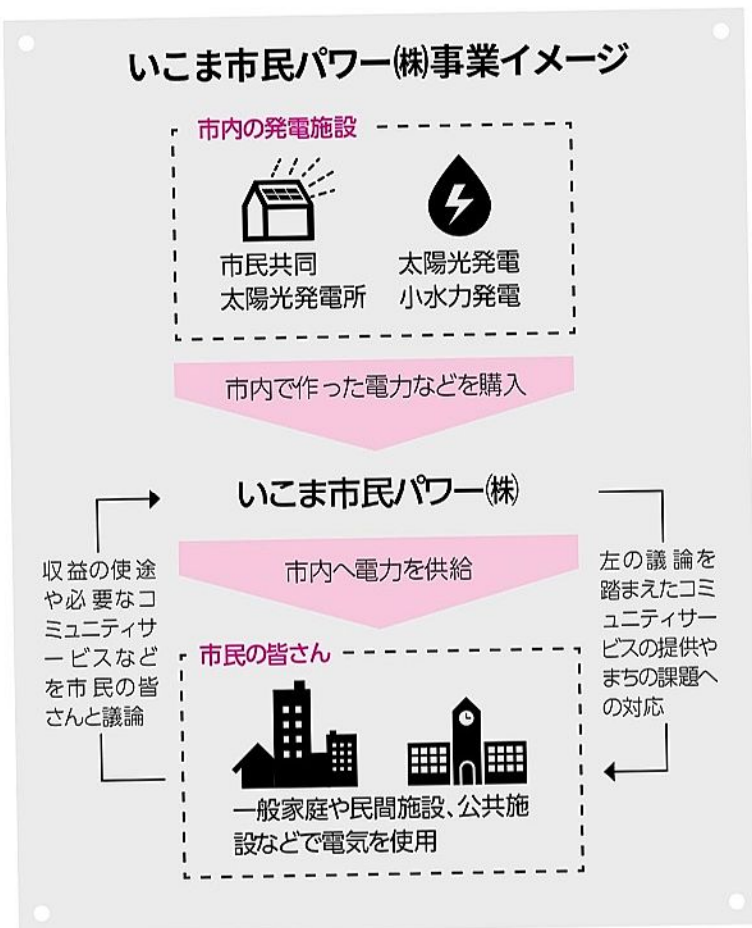


いこま市民パワー 電力供給スタート

今年7月に設立した地域電力会社「いこま市民パワー(株)」が、12月から市内公共施設に電力の供給をスタートします。会社の収益はまちづくりのために活用。具体的な使い道を市民の皆さんと考え、創っていく「市民による市民のための電力会社」を目指します。
 環境モデル都市推進課(☎0743・74・1111、内線375)



市内の再生エネルギーを調達・供給する地域電力会社

地域電力会社「いこま市民パワー(株)」は、太陽光発電や小水力発電など、市内で作られた再生可能エネルギーを購入し、その電力などを市内公共施設に12月から供給を始めます。一般家庭には、平成31年度をめぐりに供給予定。市民の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

▼電力供給先 学校や市庁舎など市内の公共施設

▼電力調達先 市が所有する太陽光発電6施設・小水力発電1施設、(一社)市民エネルギー生駒が運営する市民共同太陽光発電所3か所、大阪ガスが送電する電力

■いこま市民パワー(株)の特長

◇「まちの魅力向上・課題解決にエネルギーを切り口に組みむ」をテーマに、事業収益は株主には配当せず地域活性化に活用。詳しい使い道は、市民の皆さんによるワークショップで決めます。

◇市内の一般家庭などで使う電力は、市外からの供給がほとんど。今までは市内に電力事業者がなく供給できていませんでしたが、同社が電力を市内で供給すれば再生可能エネルギーの拡大や市内での資金循環が期待できます。

いこま市民パワー-Q&A

Q.会社にはどんな人が出資しているのですか。

A.生駒市、大阪ガス(株)、生駒商工会議所、南都銀行、(一社)市民エネルギー生駒(出資額順)が出資しています。市民参加型の地域電力会社は全国で初めての事例です。

Q.会社名はどのようにして決めたのですか。

A.会社名は公募し67件の応募の中から選定。「パワー」には本市の「市民力」と「電力」の2つの意味を込めています。市民みんなで力を合わせて創る電力会社への思いを表現しました。

